

「考える」「工夫する」そして、「やってみる」

新型コロナウイルス感染対策を考えながらの学校生活もいよいよ、カレンダーも最後の1枚となりました。今年は様々な行事を例年通り行うことができませんでしたが、子どもたちの「考えて・工夫して・やってみよう」のチャレンジ精神で、いつもと違う活動を行うことができました。「ありがとう集会」も形を変えて、子どもたちからのメッセージカードとお花、4年生の手作り味噌のプレゼントを、登下校の際等にお渡ししたいと考えています。



【大海っ子フェスティバル】



【4年生の味噌詰め作業】

そして、今年度もたくさんの地域の方々の温かさに支えていただきました。毎日の登下校を見守って下さる防犯パトロール隊の皆さんをはじめ、区長さん方、お米、味噌、野菜づく、大海川の先生等など、多くの方々にお世話になり 貴重な体験をさせていただいています。日頃からご支援ご協力をいただいている保護者の皆様方にも感謝です。本当にありがとうございます。

こうした家庭の力や地域の力をいただくことで、子どもたちは日々すくすくと成長しています。学校は、子どもたちの将来に活かせる『生きた学力』が、しっかりと身に付くように努め、郷土への感謝と愛情が、さらに深いものとなるように育てていきたいと思えます。どうぞ、今後も大海小学校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

12月の生活目標・・・『人の役に立つことをしよう』

今年の11月も、友だちや先生への感謝の気持ちをカードに書いて、『ありがとうの木』に貼り付ける活動に取り組みました。どの学級の『ありがとうの木』もカードでいっぱいになりました。感謝の気持ちを言葉にして互いに伝え合うことで、さらに優しい気持ちが育ったと思えます。

12月は、人のためになることを考えて、進んで行動することを目指し、「どのような行動が人を喜ばせるのか」について各学級で話し合います。より多くの人のために活躍できる大海っ子を期待しています。ご家庭でも、人のためになる良い行動は、認め、褒めてあげてください。



子どもを待ってみませんか (神成美輝)「自分でできる子の育て方」 子どもを待つ・・・待ち時間は「考える力」が 伸びる時間と心得る

新型コロナウイルス感染の厳しい状況についてのニュースが連日入り、お家で過ごす時間が増えていると思えます。一緒に過ごす大人の行動は、子どもたちにとって、早送りのDVD 見ているようなものです。子どもの思考や行動のペースに合わせてあげてください。やる気のある子どもたちは、自分の行動を見守ってもらえる時は、どうすればできるようになるか考えて、粘り強く最後までやり遂げると思えます。

ちょっと余裕の心でお子さんの行動を待ってあげてください。きっと満足そうな笑顔が見られると思えます。

古着回収ありがとうございました

今年度も古着回収にご協力いただきありがとうございます。今ままでにご協力いただいた分は、4,800円になりました。子どもたちの学習や活動で活用するための『がんばりシール』を購入させていただきました。ありがとうございました。



回収につきましては、ご都合の良い時にご持参いただければ結構ですので、よろしくお願ひします。